2024年6月2日

各位

岐阜聖徳学園大学外国語学部
学部長　大塚 容子

第8回高校生英語レシテーションコンテストのご案内

ご挨拶

岐阜聖徳学園大学外国語学部では、英語スキルと学習意欲の向上を目的に、「英語レシテーションコンテスト」を毎年開催しております。その一環として、私たちの教育への取り組みを多くの方々にご理解いただけるよう「高校生の部」も開催しております。今年度も会場でのコンテストを実施いたします。募集要項をご覧の上、奮ってご応募ください。

みなさんからの勇気あるご応募を心よりお待ち申し上げております。

英語レシテーションコンテストとは

「レシテーション」とは「暗唱」のことです。このコンテストでは、英語の物語、スピーチ、映画の1シーン、TED.comなどから、2分程度の英文を暗唱します。発音の習熟度、強勢やイントネーション、リズム、ボディーランゲージや目線などを含め、英語の暗唱としての完成度を競います。キング牧師の演説(I have a dream)や、オバマ前大統領の就任演説、映画『セント・オブ・ウーマン』のアル・パチーノの演説シーンなど、何を選択するかは自由です。英語の音声や映像を繰り返し聴いて練習し、発音やイントネーションを徹底して真似るため、スピーチが完成に近づくにつれて、自分の発話もスムーズになり、英語特有の発音やイントネーションが身につきます。

審査基準

・English Phonemes (10 points) = Is s/he accurately pronouncing English sounds?

Native-like = 10 points, Japanese-like = 1 point

👉日本語にはない英語の音が発音できているか。（例：/θ/ (think), /ð/ (they), /l/ (live), /r/ (right), /f/ (fine), /v/ (vine)など）

・English Prosody (10 points) = Is s/he speaking with natural patterns of stress, intonation, and rhythm?

Native-like = 10 points, Japanese-like = 1 point

👉英語の強勢（ストレス）、イントネーション、リズムができているか。

・Presence (10 points) = Is s/he looking up, not down? Is s/he using proper and effective gestures?

A perfect memorization of the script, no unintentional pauses or stuttering, with proper gestures and eyes = 10 points

Just reading the script = 1 point

👉原稿を読まずにスムーズに暗唱しているか、適切で効果的な目線とジェスチャーで話しているか。

・合計30点で競います。

応募締め切り

2024年9月20日（金）23:59

※応募数が30名を超える場合は、応募を早めに締め切る場合がございます。あらかじめご了承下さい。

日時

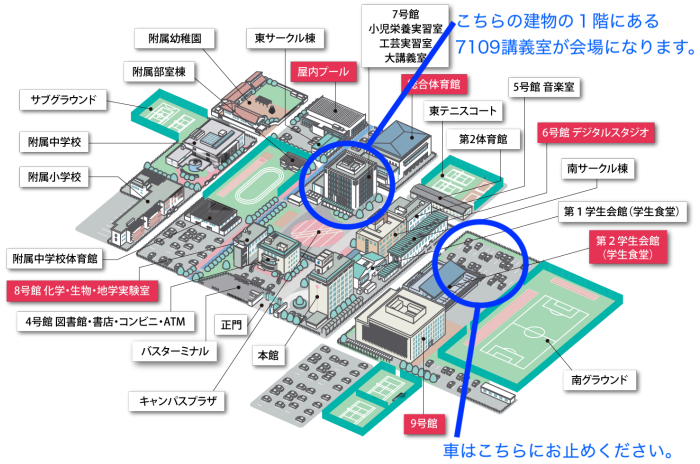
2024年10月5日（土）14:00～17:00

会場

岐阜聖徳学園大学　羽島キャンパス　7号館7109大講義室

岐阜県岐阜市柳津町高桑西一丁目1番地

Tel: 058-279-0804（代表）



Google Map 駐車場はこちら（入り口ゲートのバーが上がっていますので、そのままご入車ください。）

https://goo.gl/maps/MA5YQmZjBfVbV3RS8

プログラム

14:00　開会の挨拶

14:05　レシテーション発表

16:40　審査結果と表彰式

16:55　　閉会の挨拶

（終了時間は参加人数により前後します）

参加人数

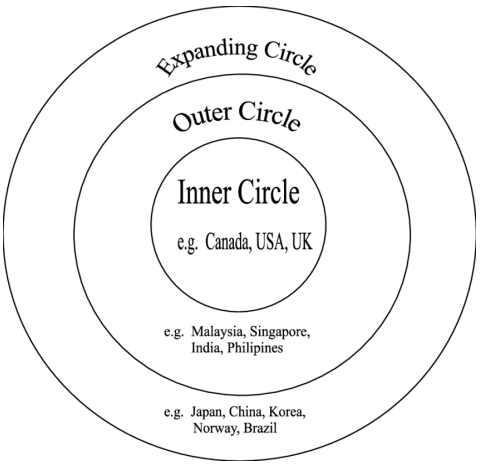
各高校で4名以内の参加でお願いします。ただし、全体の参加人数を15名～30名に調整するため制限人数を5名以上に変更する場合がございますので、参加希望者が4名を超える場合は、ご相談ください。

応募方法

応募はこちらのURLからアクセスして必要事項を記入してください。参加者が一人ひとり個別にご登録ください。高校でまとめて登録することはご遠慮ください。
https://forms.gle/NPDkcEuVWcKKQ42FA

応募条件

- 日本の高校に通っていること。
- 本コンテスト（高校生英語レシテーションコンテスト）で過去に一度も優勝したことがないこと。
- 英語が母語ではないこと（国籍は関係ありません）。
- 家庭内に英語を主たる言語として使用している人がいないこと。
- 英語圏での就学経験が通算1年以内であること。
- インターナショナルスクール等、英語を主たる言語とする学校の在籍期間が通算1年以内であること。
- 保護者および在籍校から応募の同意を得ていること。（特に証明する必要はありません。）



フィリピンやマレーシアなどのOuter Circleと韓国や中国などのExpanding Circleにある国の出身
→上記の参加条件を満たしていれば参加できます

アメリカやオーストラリアなどInner Circleにある国の出身
→参加できません

審査員

外部の英語ネイティブスピーカー教員3名。審査基準に則って審査します。

注意とお願い

発表の様子を撮影し、主催者の公式ホームページ、広報等において使用させていただく場合がございます。予めご了承の上ご参加ください。

表彰（予定）

第1位　賞状 & Apple Watch
第2位　賞状 & AirPods

第3位　賞状 & AirPods
第4位　賞状 & Wireless Headphones
特別賞　賞状

主催
岐阜聖徳学園大学外国語学部

お問い合わせ
岐阜聖徳学園大学外国語学部
准教授
長尾 純
junnagao@gifu.shotoku.ac.jp
080-4309-2415

過去のコンテストの様子（高校生）
https://youtu.be/DVNNgN2KAP4

過去のコンテストの様子（大学生）
https://youtu.be/9aMtG1es6NM

よくある質問 **(FAQ)**

Q. どんな方が審査員ですか。

A. 聖徳で教えていない外部の英語ネイティブスピーカー教員3名を予定しています。審査基準に沿って審査します。

Q.どのように審査されるのか教えてください。

A. 審査基準は次の通りです。

・English Phonemes (10 points) = Is s/he accurately pronouncing English sounds?

Native-like = 10 points, Japanese-like = 1 point

・English Prosody (10 points) = Is s/he speaking with natural patterns of stress, intonation, and rhythm?

Native-like = 10 points, Japanese-like = 1 point

・Presence (10 points) = Is s/he looking up, not down? Is s/he using proper and effective gestures?

A perfect memorization of the script, no unintentional pauses or stuttering, with proper gestures and eyes = 10 points

Just reading the script = 1 point

以上、合計30点で競います。

Q.発表はどのくらいの長さを用意すればいいですか。

A. 発表時間は2分程度です。2分30秒を超えた場合は減点されます。

Q. どのように練習すれば上手くなりますか。

A. まずは英語にあって日本語にない子音（/f/, /v/, /l/, /r/, /θ/, /ð/）の仕組み(調音様式と調音位置)はしっかりとおさえておきたいですね。次に音声データ（あるいは動画データ）を何度も聞いて何度も真似てみてください。聞こえた通りに音を出してみることが大切です。アプリ等を使って再生スピードを遅くして練習することを強くお勧めします。そうすることで英語のプロソディー（イントネーションやリズム）が細部に至るまで感じ取れます。Audiopoという無料アプリを使って、最初は再生スピードをx0.5で練習し、慣れてきたらx0.75にするという具合に、徐々にスピードを上げてみてください。
発音に関する、私（長尾）の模擬授業をこちらからご覧いただけます。よかったらご視聴ください。

発音の模擬授業 No. 1（海外ドラマ『フレンズ』を使った英語発音トレーニング）
https://drive.google.com/file/d/1u_rIPvU39BBFihMrsWwIr6Dwh_hAWF7L/view?usp=sharing
発音の模擬授業 No. 2（英語のリズムとリスニングではっきり聞こえない部分の正体）
https://drive.google.com/file/d/1tXm5Cl7LbiJpdoz-x1kVu0B5HZ4rQFXZ/view?usp=sharing

Q. モデルに利用する動画はどんなのがいいですか。

A. 何を選択するかは自由ですが、自分が「英語でこんなふうにスピーチできたらいいな」と思うものを選ぶと良いと思います。何を選んだらいいかわからない場合は、TED Talkから選ぶことをお勧めします。自分にとって興味のあるトピックを見つけやすいですよ。また、TED Talkのスピーチは、トランスクリプトが用意されていて、スロー再生にも対応しています。

Q. モデルに利用する動画が2分30秒をはるかに超える長さなのですが、どうしたらいいですか。

A. スピーチの中で自分が特に暗唱したい箇所を選んで2分以内にしてください。モデルにする話者によりますが、ほとんどの場合、英語学習者にとっては早口すぎると感じると思いますので、少し余裕を持って1分40秒ぐらいにカットして、オリジナルのスピードのx0.75で準備すると良いと思います。

Q. 本番前に一度聞いてもらってアドバイスを頂きたいのですが、可能ですか。

A. 外国語学部の英語ラウンジ（Lounge MELT）で英語ネイティブの先生に個別指導を受けることも可能です。また、FacetimeやZoomで発音等の指導ができますので、お気軽に
junnagao@gifu.shotoku.ac.jp（長尾）までご連絡ください。

Q. 一度実際の会場で慣れておきたいのですが、可能ですか。

A. 開催場所の7109教室は開催当日の13時00分から13時50分まで練習用に解放しますので、実際に舞台に立って、マイクを使って練習することができます。7109教室の向かいの7108教室も12時10分以降控え室としてご利用いただけます。貴重品の管理は各自お願いします。

Q. 申し込みフォームのアドレスは生徒本人のものでなくてはいけないのでしょうか。可能であれば先生のアドレスを代わりに入力してもよろしいでしょうか。

A. はい、先生のアドレスを記入いただいても問題ございません。

Q. タイトルは暗唱するスピーチのタイトルをそのまま使えばいいのでしょうか。

A. はい、タイトルについては基本的に参加者にお任せしておりますが、暗唱するスピーチのタイトルをそのまま使用する生徒さんが多いです。

Q. スピーチの原稿を貼りつける箇所ですが、できるだけ2分に近い箇所で終わらせるために、まだ終わりの部分を迷っています。後から変更することは可能でしょうか。

A. はい、後から変更することは可能です。変更したものをメールでお送りいただいても結構です。

Q. 保護者の観覧は可能でしょうか。

A. はい、もちろん歓迎します。

Q. 先生も一緒に来て大丈夫ですか。

A. はい、もちろん歓迎します。